



がんばろう!東北

## 平成26年度第三四半期 防災エキスパート活動報告

平常時

県別	活動内容	活動場所 (事務所・出張所名)	活動年月日	出勤数 (人)	備考
青森	高瀬川堤防決壊シミュレーション	高瀬川河川事務所	平成26年10月1日	3	
				3	
岩手	水防技術講習会(技術指導)	岩手河川国道事務所管内	平成26年10月19日	3	
	緊急対策シミュレーション報告会	岩手河川国道事務所	平成26年11月13日	4	
				7	
秋田	徒歩点検	秋田河川国道事務所管内	平成26年10月10日 10月20日 10月23日	1 1 1	
	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション検討会(講師)	能代河川国道事務所	平成26年11月4日	2	
				5	
山形	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション	新庄河川事務所管内	平成26年10月6日	1	
	大規模土砂災害危機管理演習事前説明会・勉強会	新庄河川事務所	平成26年10月29日	1	
				2	
平常時活動			合計	延べ 17 人・日	



高瀬川堤防決壊シミュレーション検討会  
(高瀬川河川事務所・10/1)



水防工法技術講習会・シート張工法  
(岩手河川国道事務所・10/19)



堤防決壊時の緊急対策シュミレーション  
(能代河川国道事務所・11/4)



緊急対策シュミレーション成果報告会  
(岩手河川国道事務所・11/13)

## 新規登録状況

平成26年12月1日付けで登録いただいた新会員をご紹介します。平成26年12月24日現在、登録会員数は424名となりました。

12月1日登録 1名 (敬称略・五十音順)

氏名	登録県	登録事務所・出張所等
須藤 純二	山形	新庄河川事務所、鳥越出張所、鮭川出張所

## 国連防災世界会議に向けて

平成27年3月14日から18日の間、仙台市において「第3回国連防災世界会議」が開催されます。過去2回はいずれも日本での開催ですが、被災地での開催は、第2回(2005年)の神戸市について二度目です。第2回会議では、2005年から2015年までの国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組」が策定されるなど、大きな成果をあげています。

防災エキスパート事務局(東北地域づくり協会)では、東日本大震災における防災エキスパートの活動記録をはじめ、今後の備えとして、防災関連技術等の出展を予定しております。これを機会に、防災エキスパートの活動を世界に向けて発信して参ります。出展の状況は、防災エキスパートだよりで随時ご紹介して行く予定です。  
※ 関連サイト (<http://www.bosai-sendai.jp>)

## 連絡対応者の設置について

災害時の防災エキスパート出動対応を迅速に行うため、協定各社に緊急時の連絡対応者を設置していただきました。

平常時はこれまで同様、東北地域づくり協会各支所にて対応します。災害時等の緊急時にあつては、基本的に第一連絡は協会各支所が対応しますが、連絡がつかない場合は、協定各社の第二・第三連絡対応者の方々に対応いただくこととなりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

(詳しくは、各県防災エキスパート事務局まで)



# 全国における最近の災害

9月27日、多くの登山客を巻き込んだ御嶽山の噴火をはじめ、日本列島を縦断し各地に被害をもたらした台風19号、家屋の倒壊被害が多く見られた長野県北部を震源とする地震、そして12月上旬の大雪被害と、全国各地で多種多様な災害が発生し甚大な災害をもたらしました。

## 長野県北部を震源とする地震

### <地震概要>

発生日時：平成26年 11月22日（土） 22時08分頃

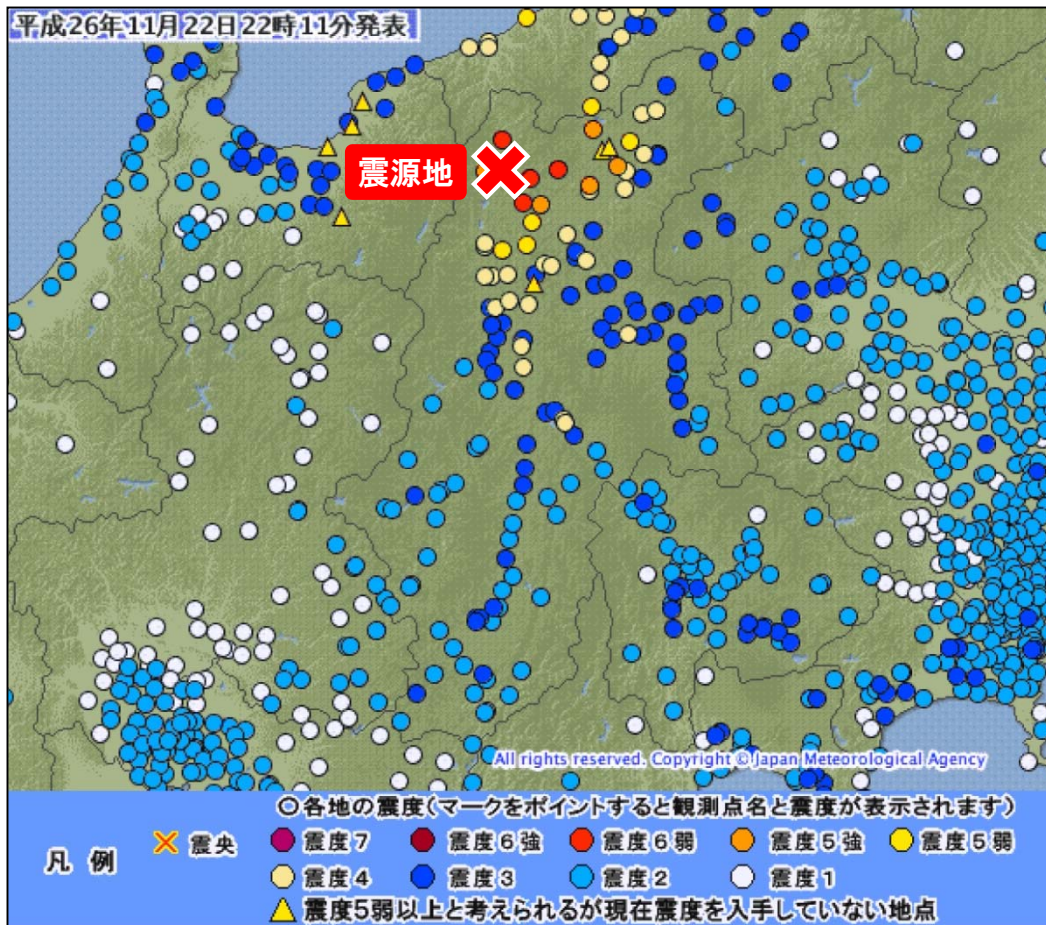
震源地： 長野県北部（北緯36度41.5分、東経137度53.4分）

震源の深さ及び規模：深さ 5km、マグニチュード 6.7

最大震度観測地（6弱）：長野市戸隠<sup>とがくし</sup>、長野市鬼無里<sup>きなさ</sup>、小谷村中小谷<sup>なかおたり</sup>、小川村高府<sup>たかふ</sup>

### <被害概要>

- 人的被害 死者・行方不明者 0人、負傷者 46人（重傷 10人、軽傷 36人）
- 家屋被害 全壊 36棟、半壊 66棟、一部損壊 1,000棟、床下浸水 1,102棟
- 直轄被害 河川・道路ともに被害なし



震央と各地の震度

(資料：気象庁HPより)

### ＜国土交通省の対応＞

- リエゾン派遣 [延べ 93人日・期間 11/22～12/1]
- TEC-FORCE派遣 [延べ 423人日・期間 11/22～12/1]
- 災害対策用ヘリコプターによる被害状況調査
- 専門家の派遣 [国総研、建築研究所、土木研究所]
- 災害対策用機械等出動 [照明車、待機支援車、遠隔操作式BH、衛星通信車]
- 航空情報の発行 [ノータム]
- 観光関係風評被害対策 [情報発信関係]
- 広島県豪雨土砂災害対策推進室の設置（太田川河川事務所内） 等

（12月1日時点 国土交通省発表より）



木造家屋の倒壊（白馬村）



コンクリートブロック造の倒壊（白馬村）

（写真：国土技術政策総合研究所HPより）

## 御嶽山の噴火

発災日時：平成26年 9月27日（土） 11時52分頃噴火

火山概要：御嶽山 標高3,067 m

（長野県木曾郡木曾町・王滝村と岐阜県下呂市・高山市にまたがり、東日本火山帯の西端に位置する複合成層火山

平成19年（2007年）3月下旬のごく小規模な噴火以来7年ぶりの噴火

被害概要：人的被害

死者 57人、行方不明者 6人、負傷者 69人

※10月7日以降、火山性微動は観測されていない

（11月5日時点 国土交通省発表より）

## 東北地方における火山活動

昨年（2013年）1月に蔵王山で火山性微動が発生して以降、東北地方の活火山でも依然として予断を許さない状態が続いています。

12月12日には、仙台管区気象台が吾妻山で火山性微動が発生したとして、同日15時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警報レベル1（平常）からレベル2（火口周辺規制）に引き上げました。

### ＜吾妻山の最近の動き＞

- 平成26年12月12日 06時21分頃 火山性微動発生
  - ・ 吾妻小富士東観測点での継続時間は約35分で、2001年以降では2番目に長い
  - ・ 同日10時から13時にかけて38回の火山性地震が発生
- 火山性地震の観測状況
  - 10月：91回
  - 11月：130回
  - 12月：161回（12日13時現在）

（12月12日時点 仙台管区気象台 火山監視・情報センター発表より）



（図：気象庁HPより）

火山名	標高(m)	近年の噴火
忍山	878	不明
岩木山	1,625	西暦 1863年
八甲田山	1,585	15～17世紀
十和田	1,011 (御鼻部山)	西暦 915年
秋田焼山	1,366	西暦 1997年
八幡平	1,613	約7,300年前
岩手山	2,038	西暦 1919年
秋田駒ヶ岳	1,637	西暦 1971年
鳥海山	2,236	西暦 1974年
栗駒山	1,627	西暦 1944年
鳴子	470	西暦 837年
肘折	552	不明
蔵王山	1,841	西暦 1940年
吾妻山	1,949	西暦 1977年
安達太良山	1,728 (箕輪山)	西暦 1900年
磐梯山	1,816	西暦 1888年
沼沢	835	約5,000年前
燧ヶ岳	2,356	西暦 1544年

（表：気象庁HPより作成）



# 情報提供 ～週間MEGA地震予測～

## 週間MEGA地震予測とは？

国土地理院のGNSS連続観測点データを元に導き出した地殻変動情報と過去の地震の震源、震度、マグニチュード、被害の程度などとの相関分析をして、地震の前兆現象として捉え地震予測を提供しているもので、日本測量協会会長である村井俊治氏（東京大学名誉教授）が顧問を務めるJESEA地球科学探査機構が発行しております。

事務局では、東北地域づくり協会として11月より定期購読を開始し、防災関係者へ随時提供を行っております。



**【地震予測サマリー】**

**要警戒地域**  
(震度5以上の地震が発生する可能性が極めて高い)  
南西諸島

**要注意地域**  
(震度5以上の地震が発生する可能性が高い)  
東北・関東の太平洋岸  
四国・九州東岸および瀬戸内  
飛騨・甲信越  
伊豆半島・伊豆諸島・小笠原諸島・東海地方  
東北地方奥羽山脈地帯

**要注視地域**  
(震度5以上の地震が発生する可能性がある)  
北海道・青森県  
石川県・福井県などの日本海側  
鹿児島県周辺  
神奈川県川崎周辺

※予測期間は、「要警戒」は1か月程度、  
「要注意」は1か月～3か月程度、  
「要注視」は3か月～6か月程度  
※地震は極めて複雑な自然現象なので前兆が現れてから地震が発生するまでの期間は、地震の規模、震源の深さ・場所、地震の種類、異常変動点の分布・頻度などにより数か月のズレが生じることがあります

**【隆起沈降図】**

2012年1月～2014年9月27日 (約2年9ヶ月間) **隆起・沈降図** 2013年1月～2014年9月27日 (約1年9ヶ月間)

異常な隆起と沈降  
赤：隆起 10cm以上  
黄：隆起 5cm以上  
青色：沈降 2cm以下  
青：沈降 4cm以下



**【週間異常変動図】**

計測期間9月21日～9月27日  
下記の観測点で異常な変動が見られます。但し、地震につながる現象も含まれますが、何らかの地盤の変動と解釈してください。

**週間異常変動図**

● 黒：変動 7cm以上  
● 赤：変動 5cm以上  
● 黄：変動 4cm以上



隆起沈降地域別拡大図は <http://www.jesea.co.jp/10>  
今回は隆起している点もみ

＝ 登録をご希望の方は、JESEAホームページ (<http://www.jesea.co.jp>) をご覧下さい ＝

## 編集後記

来年3月には、仙台市で“第3回国連防災世界会議”が開催されます。これを契機に、東日本大震災の記憶と防災意識は一時高まりますが、それを継続的に維持していくことが真に必要な取り組みであると考えます。

本年は、例年に比べ平常時の活動が多くありました。ご協力いただきましたエキスパート会員の皆様にはこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

また、来年も引き続きまして、防災エキスパート活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。良いお年をお迎え下さい!!

### 防災エキスパート事務局

(東北地域づくり協会 地域事業部 中村・菅原)

TEL : 022-268-4711 / FAX : 022-211-9534

E-mail : [michinoku@kyokai.or.jp](mailto:michinoku@kyokai.or.jp)

※ 事務局 E-mailアドレス を変更しております